

ハチに刺されたら

アシナガバチ、ミツバチ、スズメバチに刺されることがあります。刺された場所の発赤と腫脹（しゅちやう）だけでなく心配ないのですが、全身にじんま疹（じんましん）がでて呼吸が苦しくなる場合（アナフィラキシー）は重症です。以前にハチに刺されて、ハチの毒に対してアレルギーがある人は、アドレナリン自己注射薬（医療機関で処方が必要）をいつも携帯することが必要です。



急いで受診

の目安

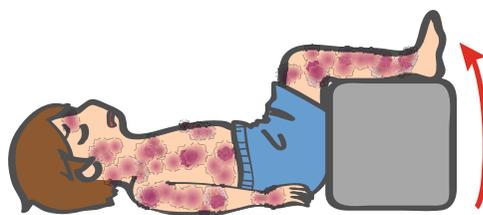
全身にじんま疹がある

顔色が悪い

呼吸があらく苦しそう

◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 上記のような症状があるときは、アナフィラキシーの可能性が高いので、すぐに救急車を呼びましょう。体を横にして足を上げて安静にし救急車を待ってください。自己注射薬を持っている方はすぐ使しましょう。
- 家で対応する場合、毒針が残っている時は、毛抜きなどで取り除きます。赤みや腫れが強くなるようであれば医療機関を受診してください。
- ハチ刺されは、2回目以降に症状が強くなるアナフィラキシー反応を起こす場合があるので注意が必要です。



- アナフィラキシーが疑われるときは、静かに寝かせて足をあげ、救急車を待ちましょう。
- アナフィラキシーでは全身の血管の緊張がゆるみ、全身から心臓にかえってくる血液の量が少なくなります。
- 体を起こしたり、自分で歩かせたりしてはいけません。脳に流れる血液（酸素）が少なくなると、意識を失うことがあります。

やけどをしたら

◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 受診する前に、水道水を流しっぱなしにして15分程度冷やしてください。できれば服を脱がせて、赤くなっている部分を冷やしましょう。水ぶくれは破らないように注意しましょう。
- パーベキューの炎や油によるやけどで、深いやけどになると皮膚が白もしくは黒くなることがあります。すぐに受診してください。
- やけどが広範囲の場合は冷やすと低体温になりますので、清潔なシーツでおおってから毛布をかけ保温して救急車を呼びましょう。
- 顔や性器のやけどは、程度が軽そうに見えても、その後悪くなることがあるので医療機関を受診しましょう。
- ホットカーペット、あんか、カイロなどでは「低温やけど」（症状が見た目にはわかりにくかったり、痛みを感じにくいことがあるので、軽症と勘違いしてしまいがちです。）を起こすことがあるので注意が必要です。

